

なごやぬいぐるみ病院 11月勉強会報告書

文責：牧野早也香（名古屋大学医学部医学科 2年）

連絡先：nabeyaki0901@gmail.com

【概要】

日時：11月17日（日） 10:00～12:00

場所：名古屋大学鶴舞キャンパス第1講義室

テーマ：発達段階

参加人数：23人

タイムスケジュール

10:00～10:20 Ice Breaking

10:20～10:35 なごやぬいぐるみ病院活動紹介

10:35～10:50 休憩

10:50～11:05 発達段階についてプレゼン

11:05～11:50 WS

11:50～12:00 アンケート記入

【Ice Breaking】

今回初めてなごぬいの活動に参加する人もいたので、Ice Breaking を時間をとって行った。内容は『ラインアップ』。お題は誕生日、携帯番号の下4桁などを口に出さずに伝えて、数字が小さい順に並ぶというものだった。

【活動紹介】

初めて活動に参加する人、またはまだまだあまり活動に参加できていない人のために、なごぬいの活動紹介を行った。なごぬいの活動目的、概要をパワーポで説明した。

【発達段階プレゼン】

発達段階を3～6歳の子どもを対象に、年齢別で説明した。
参加者には各年齢の特徴を書いたプリントを配布した。

【発達段階 WS】

子ども（3～6歳）に対して、子どもの発達段階を考えながら保健教育を考えるWSをやった。参加者を4グループにわけ、3、4、5、6歳の子どもに対してそれぞれ保健教育を考えた。

概要

WS説明（3分程度）

保健教育づくり（20分）

発表（10分）

評価（15分）

保健教育は10分、子どもたちの人数は8～10人程度と想定してつくってもらった。テーマは風邪についてで、予防でもなってしまったときの対処法でもいいということとした。保健教育は伝えること、方法まですべて考えてもらい、模造紙に書いてもらった。

発表は各班約2分で、模造紙を見せながらほかの班に発表してもらった。

評価はほかの班の模造紙を見ながら、いい点、こうしたらもっとよくなる点を付箋に書いてはりだしてもらった。

・3歳児

まず模型を使って手にバイ菌がつく様子をみせる

→手洗いのうた、ダンス（手のひら、指の間などを歌詞に入れる）

→手洗い場に行って実際に手を洗ってみる

・4歳児

劇を2回やる。

1回目に風邪になる原因をちりばめておき、2回目の劇で子どもたちによくない行動を訂正してもらおう。正しく訂正できたら風邪をひかない。

・5歳児

最初に劇 or 紙しばい

(きちんと食べる、外で元気に遊ぶ、手洗い・うがい、自分のタオルを使うなど)

→昨日の自分の行動を振り返る

・6歳児

歌(手洗い・うがい)を一緒に歌う。

手洗い・うがいについてのクイズを出す(子どもができることを実践してもらう)

【アンケート結果を踏まえた反省】

- ・発達段階について、子どもの成長には個人差があり、モデルに固執しないことについても触れるべきだった。
- ・7～10歳までであると学童実施でも使えた。
- ・WSの班分けをある程度決めておいた方がよかった。
- ・WSの時間にもっと余裕がほしかった。
- ・ファシのマニュアルを固定すべきだった。

【今後勉強会でやってみたいテーマ】

- ・困った子どもの例をあげて、対応を考えるWS
- ・他大のぬいぐるみ病院の紹介
- ・子どもの好きな遊びをひたすらやる
- ・児童心理
- ・子どもの薬について
- ・ファシリテーター・プレゼンター養成
- ・子どもとの接し方
- ・小児科の先生を呼ぶ
- ・リーダーシップ・団体運営について
- ・小児の疾患(かかりやすい病気とその予防法)
- ・アニミズム

- 子どもが好きなもの、関心があるもの

何かご質問がありましたら牧野までご連絡ください。

nabeyaki0901@gmail.com

勉強会で使用したパワポ、資料もお送りします(・ω・)